

[038] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10232>

出版情報：語文研究. 38, 1975-01-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

執筆者紹介

中島 あや子	九州大学大学院修士課程
板坂 耀子	同 博士課程
白石 良夫	同 修士課程
稲川 順一	同 修士課程
田尻 英三	鹿児島大学講師
江頭 太助	北九州大学助教授

三七号訂正

大内論文

83頁上13行	金台寺小路 ↓ 金台小路
同 24行	文化二年五月十日 ↓ 五月廿日
山口論文	
36頁下注(4)の7	打開集 ↓ 打開集
同 注(6)	北島正年 ↓ 此島正年

編集後記

とどまることを知らぬ物価高騰の昨今、大手出版社の倒産などの事態もありましたが、何とか改年の御慶がわりに、この三十八号を御届け出来ましたのは、ひとえに会員諸賢の御尽力の賜と感謝致します。

執筆陣は御覧の通り、甚だ新鮮な大学院の諸君ばかりを並べる事が出来ましたのも、年頭をかざるにふさわしかろうと自賛する次第ですが、次号は春日先生の還暦記念号となりますので、そちらはまたベテラン諸氏の百花斉放となつて、好対称であらうかと思ひます。

昨年は、福田先生の追悼号が、間もなく出来上ろうという頃、九月の十九日に、今度は学会顧問であられた穴山孝道先生の御逝去に遭遇いたしました。先生の福岡高等学校以来三十年にわたつての御指導は、数えきれぬ程の人々に伝えられて来た事でしようが、学会にとつて甚だ残念というほかは御座りません。今は、新しい四つの芽のいぶきを御覧戴けることを以て、吾等の御冥福を祈る気持の一端と致したいと思ひます。

(中野)